

■【トピックス】

コロナ感染第4波！



コロナウイルス感染症の第4波の勢いが止まりません！これに対して政府の対策は、まん延防止等重点措置です。当初の大阪府、兵庫県および宮城県から始まり、東京都、京都府および沖縄県に拡大適用されました。

政府はすでにコロナに対してお手上げ状態です。頼みの綱であるワクチンも、その供給が見通せません。政府の対策はすべてが後手になっています。もはや自己防衛しかありませんね。

■【ビジネス・アイ】

公示価格下落！

社長 「コロナの第4波の勢いが止まらないね。まん防も適用されたけど、大阪なんかの増え方を見ると非常事態宣言を出すべきだよな」

花野 「そうですね。頼みの綱のワクチンも65歳以下の人がいつ接種できるか分からない状態では収束は望み薄ですね。せめてPCR検査だけでも拡充してほしいですね。合わせて変異株のスクリーニングも必要ですね」

社長 「そうだよね。感染力が強い変異株の対策が必要だよな。ワクチンが効き難い変異株が東京で流行っているっていうじゃない」

花野 「第4波ではそれが問題ですね。感染力が強い分、若年者も感染しやすく、若い人の重症者も増えていますからね」

社長 「それに、今じゃコロナでなくても救急が断れるかもしれないっていうじゃない。盲腸で死ぬかもしれないよね。本当に医療崩壊だよな」

花野 「そうですね。こんな状況の中、3月に公表された公示価格も商業地を中心に下落しましたね」

社長 「そりゃそうだよ。久しぶりに街に飲みに行ったら、どこの店もしまっていて、開いている店も営業時間の短縮で閉古鳥が鳴いていたよ」

花野 「これまではいろいろな支援で生きながらえていたお店も、息切れ倒産するのも時間の問題ですね」

社長 「景気も見通せないけど、土地の値段もまだまだ下がりそうだね」

■【今月のキーワード】

公示価格

公示価格とは、地価公示法に基づいて毎年1月1日時点の地価を、住宅地・宅地見込地・商業地・準工業地・工業地・市街化調整区域内宅地などの地域に分けて、不動産鑑定士等が評価して国土交通省が公表した地価のことをいいます。一般の土地の取引価格に対する指標を与えるとともに、公共事業用地の取引価格の算定等の規準とするために毎年公表されます。令和3年の公示価格は、全国平均で平成27年以来6年ぶりの下落となり、コロナ感染症の影響を受けたものとなっています。

■【今月の1冊】

『不平等論』

ハリー・G・フランクファート 著
筑摩書房 ¥1500

経済的な格差が広がる中、「平等」が求められています。しかし、平等によって人々が求める幸福は実現するのでしょうか？

道徳哲学的な視点から平等について正面から取り組んだ本です。著者も行き過ぎた格差については批判していますが、何もかもについて平等を求めることの是非について議論しています。考えさせられる本です。



■【編集後記】

東京オリンピックの聖火リレーが全国を巡っています。聖火リレーを中止する都道府県もありますが愛知県は実施しました。事務所近くを通る聖火リレーを帰宅途中に見ましたが、大勢の人により「蜜」状態でした。これではコロナの収束は遠いですね。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.170(毎月1日発行)

●定価：2400円/年 ●発行日：2021.5.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808